

The logo for Infocom, featuring the word "infocom" in a lowercase, sans-serif font. The letter "o" is stylized with a white circle inside it. The logo is centered within a large, circular graphic that has a blue-to-red gradient and a white border.

インフォコム株式会社

# 2023年3月期 決算説明会資料

2023.4.27

証券コード：4348

# Agenda

○  
目次

2023年3月期 決算概要

---

2024年3月期 業績予想

---

重点事業の取り組み

---

The background features several light gray, rounded rectangular shapes of varying sizes and orientations, creating a modern, abstract design. A central horizontal band is filled with a gradient from purple on the left to pink on the right, with a blurred image of people in the background. There are also decorative icons: a red asterisk in the upper left, a blue circle in the upper center, and a blue asterisk in the lower right.

# 2023年3月期 決算概要

2023年3月期 連結業績

- 対前期比で増収・過去最高売上を更新
- 成長回復のためマーケティング強化を実施
- 特別損失を計上（連結子会社に関するのれん減損、投資有価証券評価損）

売上高

**703.4**億円  
前期比+8.9%

営業利益

**85.2**億円  
前期比△15.6%

親会社株主に帰属する  
当期純利益

**35.7**億円  
前期比△48.3%

# 経営成績

(億円)	2021年度 実績	2022年度 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	645.8	703.4	+57.5	+8.9%
営業利益 (営業利益率)	100.9 (15.6%)	85.2 (12.1%)	△15.7	△15.6%
EBITDA	114.5	95.9	△18.6	△16.3%
経常利益	101.9	85.9	△16.0	△15.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益※	69.1	35.7	△33.4	△48.3%
1株当たり 当期純利益 (円)	126.20	65.20	△61.00	△48.3%
ROE	16.1%	8.0%	△8.1pt	-

※2022年度に連結子会社に関するのれん減損、投資有価証券評価損等の特別損失を22億円計上

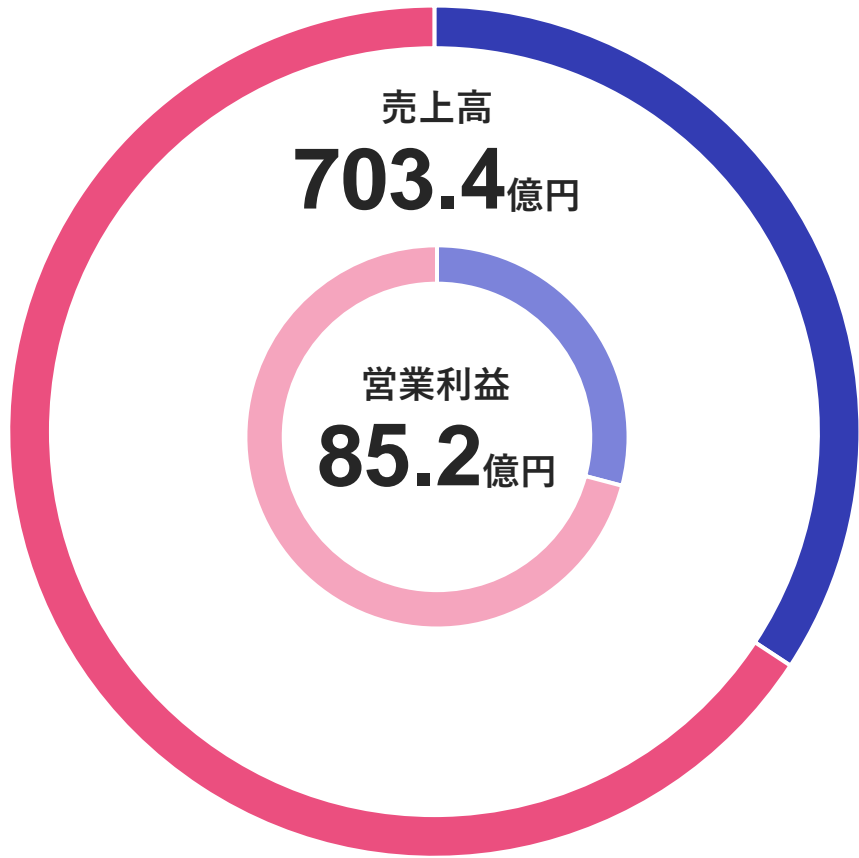
# セグメントの構成

## ネットビジネス・セグメント

**電子コミック**  
電子コミック配信サービス



### 2022年度業績



## ITサービス・セグメント

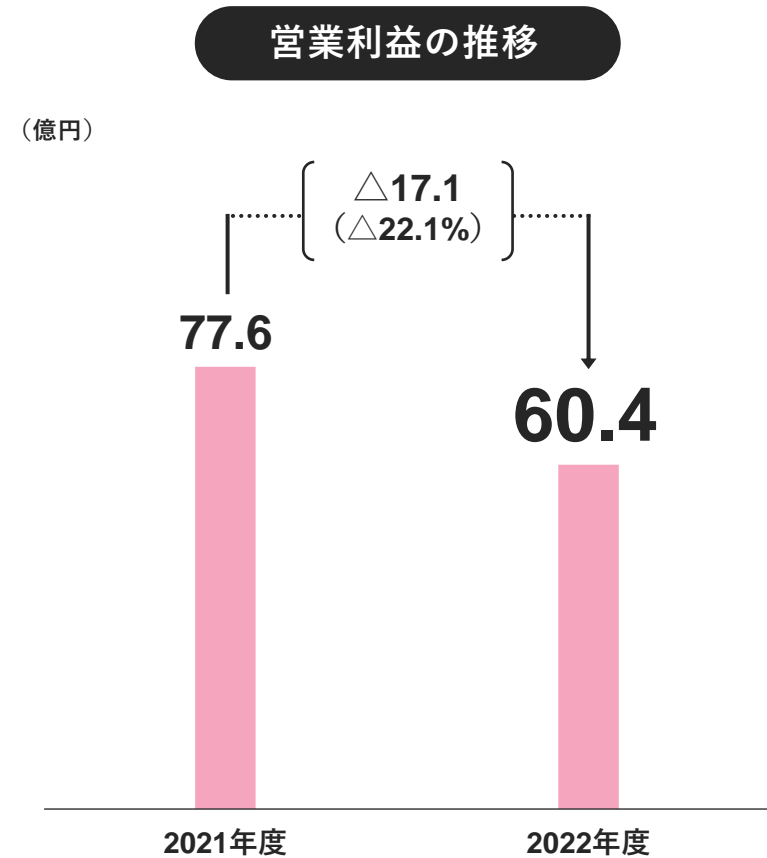
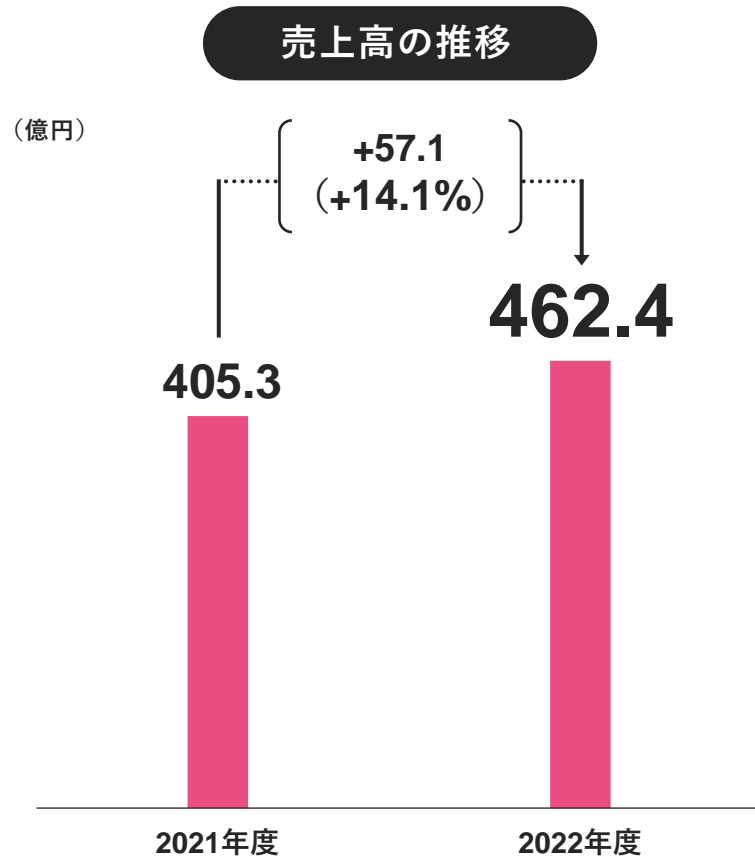
**ヘルスケア**  
医療機関向け  
パッケージ・サービス

**サービスビジネス**  
ERP クラウドサービス  
ビジネスパッケージ

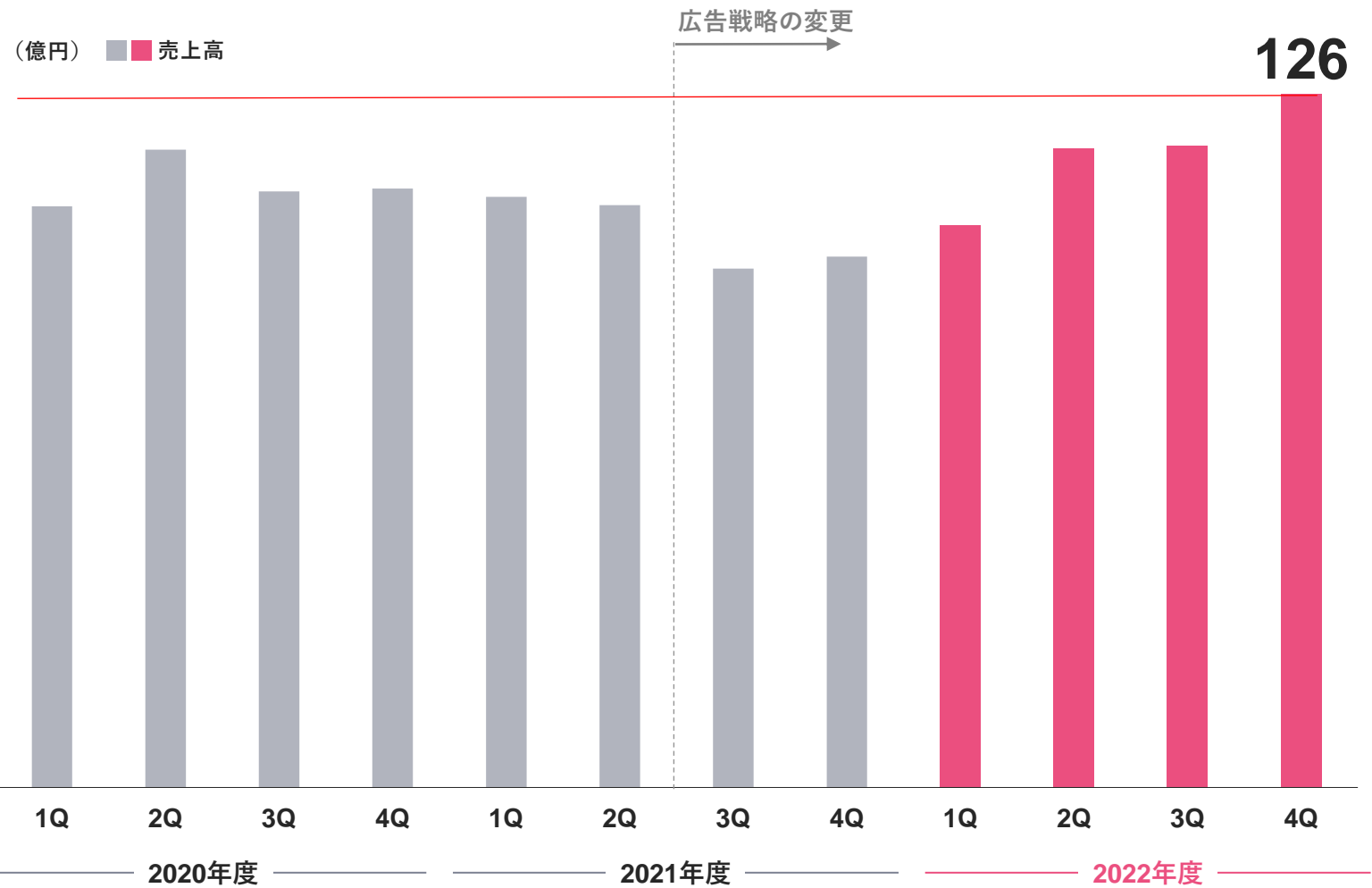
**エンタープライズ**  
大手企業向け  
システムインテグレーション

# ネットビジネス・セグメント概況

コンテンツ拡充やマーケティング強化、複数のオリジナルコンテンツのヒットにより、売上高は過去最高を更新  
 マーケティング強化によるコスト増があるものの、成長基調に回復



# 電子コミック事業の推移



- 戦略的な広告投資
- 従来の定額制（月額コース）に加え
- 従量制導入による会員数の増加

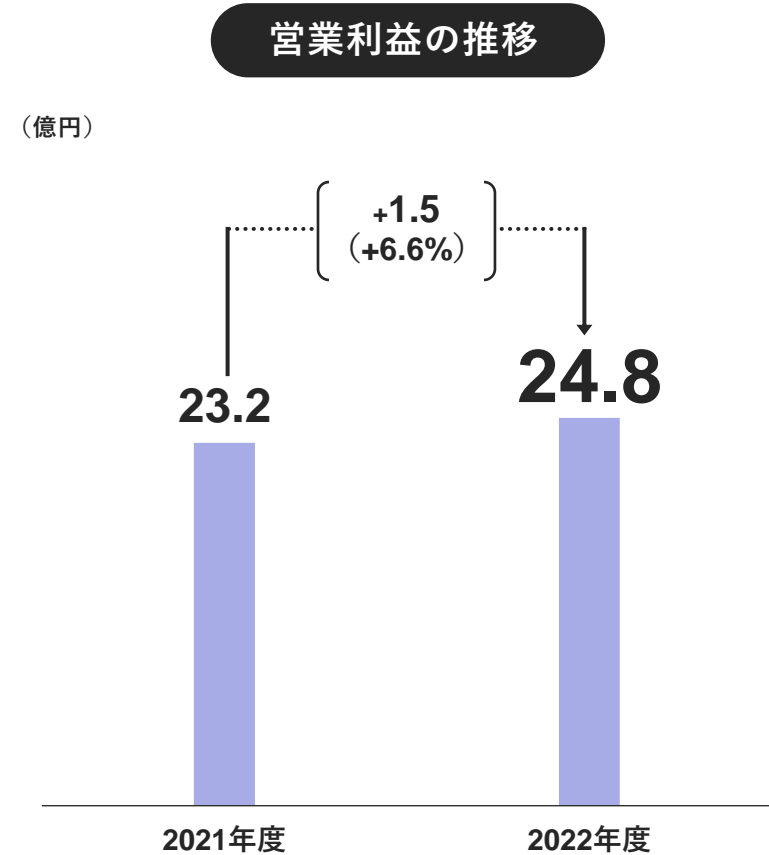
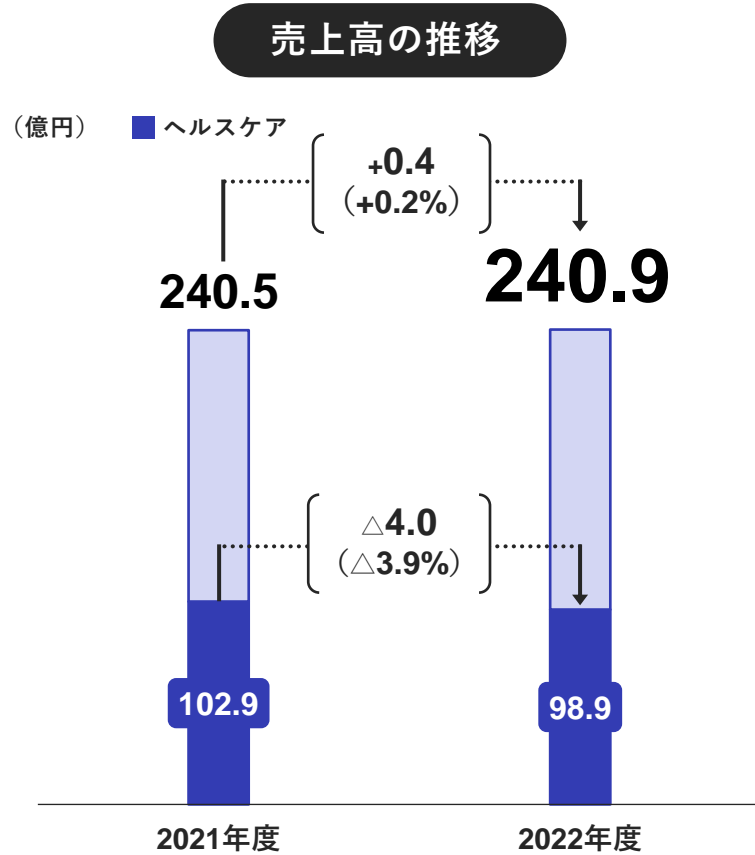


過去最高売上を更新



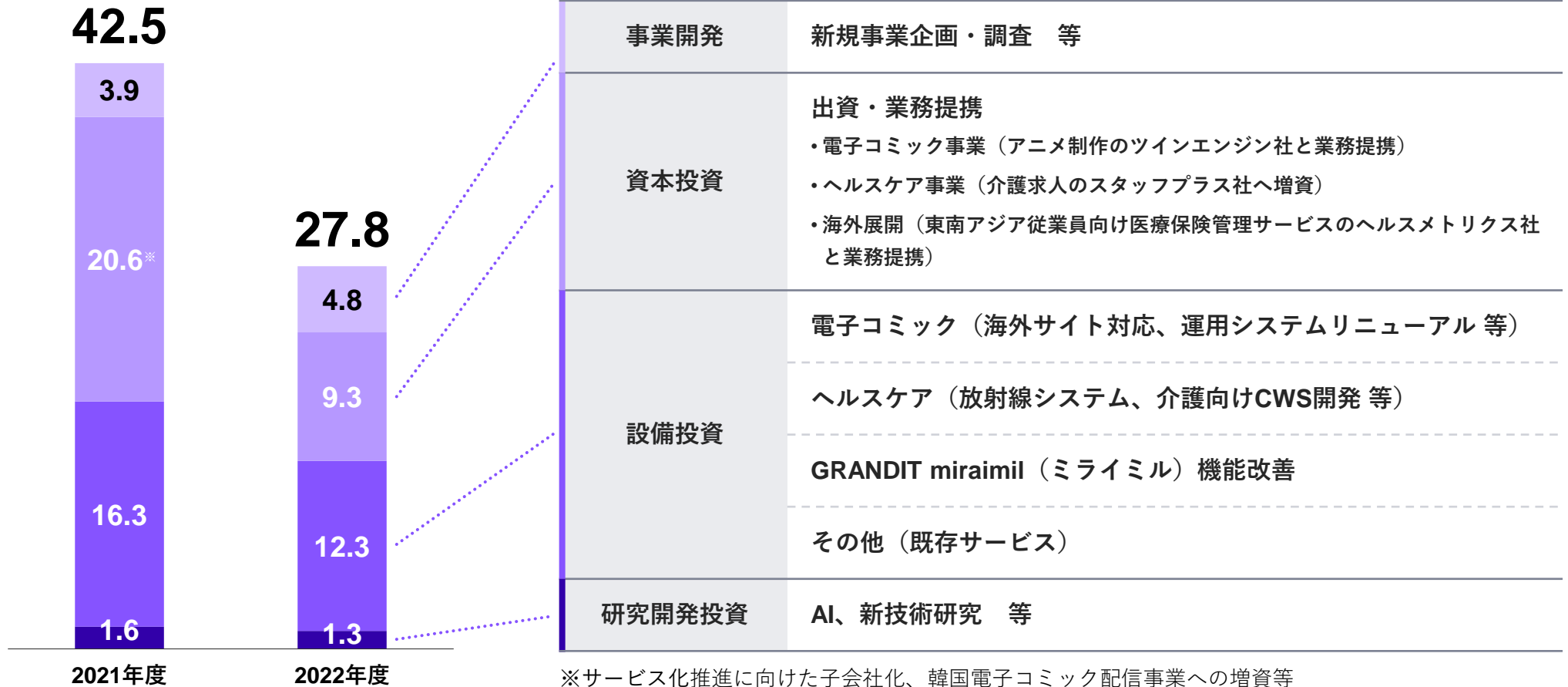
# ITサービス・セグメント概況

コロナ禍の影響（投資マインドの冷え込みやハードウェアの納入遅延）により、病院向けは案件の期ずれが発生したものの、企業向けが堅調に推移し、増収増益



# 投資実績

(億円)



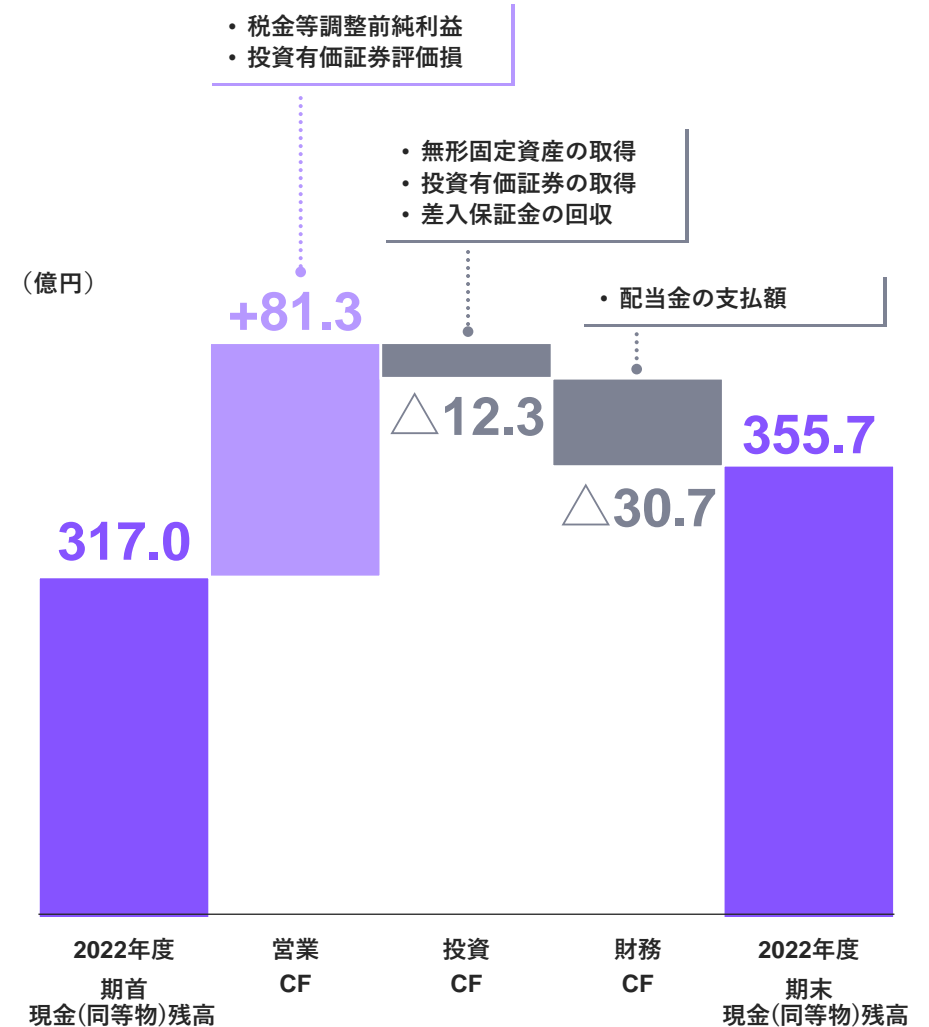
※サービス化推進に向けた子会社化、韓国電子コミック配信事業への増資等

# 貸借対照表

(億円)	2021年度	2022年度	増減額	主な増減要因
流動資産	451.6	491.1	+39.4	・ 現金及び預金
固定資産	123.6	111.7	△11.8	・ のれん、投資有価証券
資産合計	575.3	602.8	+27.5	
流動負債	124.3	146.1	+21.8	
固定負債	5.1	4.7	△0.4	
負債合計	129.5	150.9	+21.4	
純資産合計	445.7	451.9	+6.1	・ 利益剰余金
負債・純資産合計	575.3	602.8	+27.5	
自己資本比率	76.8%	74.3%	-	

# キャッシュ・フロー

(億円)	2021年度	2022年度	増減額
営業CF	71.4	81.3	+9.8
投資CF	△32.2	△12.3	+19.9
FCF	39.2	69.0	+29.8
財務CF	△22.1	△30.7	△8.5
現金及び現金同等物に係わる換算差額等	0.3	0.4	+0.0
現金及び現金同等物の増減額	17.4	38.7	+21.3
現金及び現金同等物の期首残高	299.5	317.0	+17.4
現金及び現金同等物の期末残高	317.0	355.7	+38.7



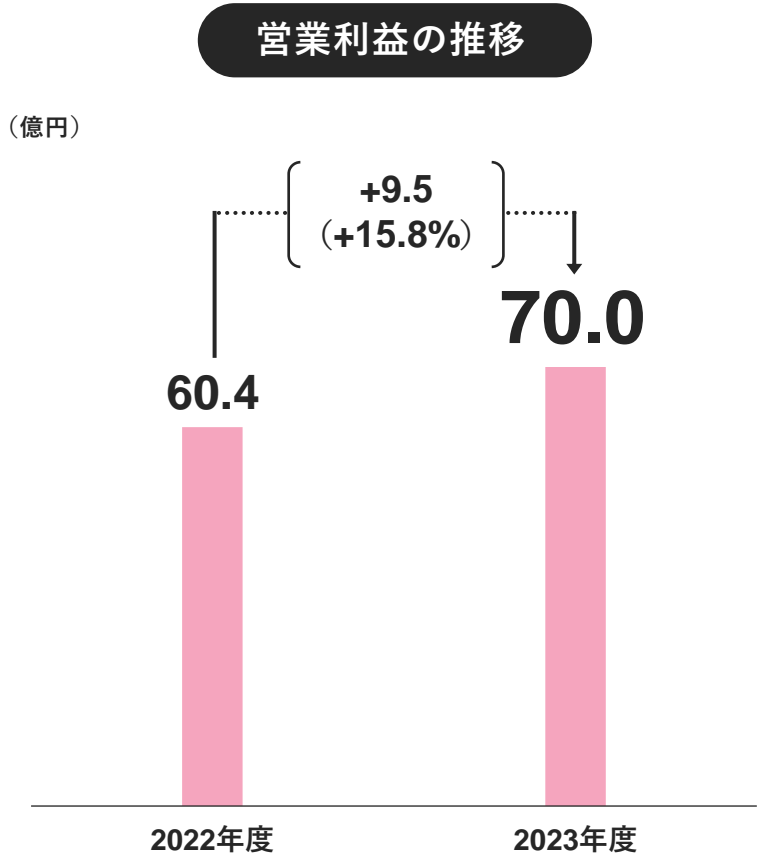
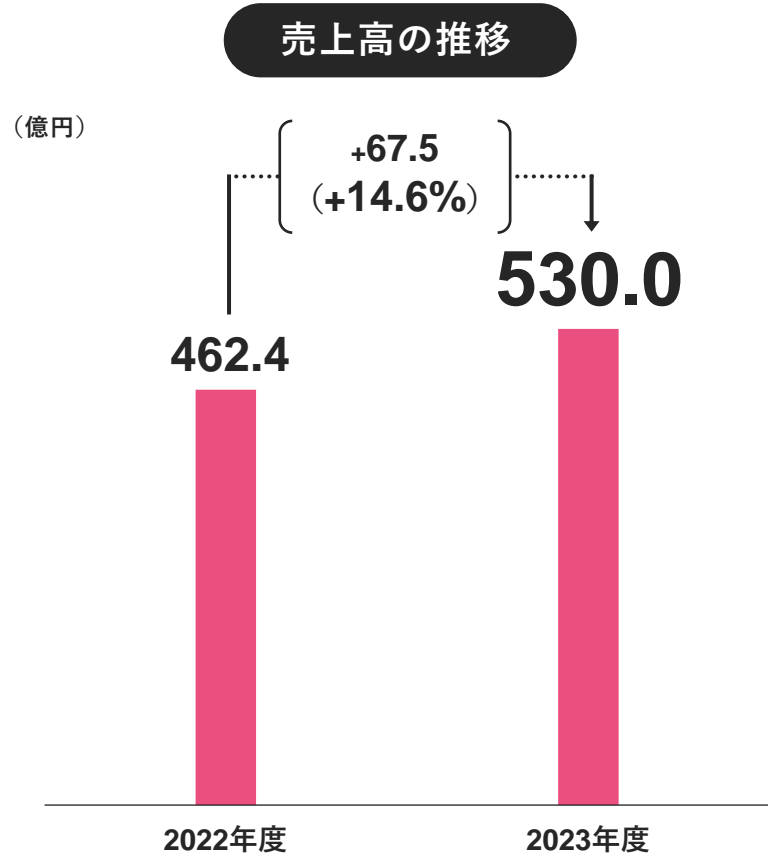
2024年3月期 業績予想

# 2024年3月期 連結業績予想

(億円)	2022年度 実績			2023年度 予想			前期比	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額	増減率
売上高	330.3	373.0	703.4	370.0	410.0	780.0	+76.5	+10.9%
営業利益 (営業利益率)	37.1 (11.2%)	48.1 (12.9%)	85.2 (12.1%)	38.0 (10.3%)	57.0 (13.9%)	95.0 (12.2%)	+9.7	+11.4%
EBITDA	42.8	53.0	95.9	44.0	61.0	105.0	+9.0	+9.5%
経常利益	37.8	48.0	85.9	38.0	57.0	95.0	+9.0	+10.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	17.0	18.6	35.7	26.0	38.0	64.0	+28.2	+79.2%
1株当たり 当期純利益 (円)			65.20			116.82	+51.62	+79.2%
ROE			8.0%			13.7%	+5.7pt	-

# ネットビジネス・セグメントの業績予想

市場予想を上回る二桁成長を継続し、利益ある成長を目指す



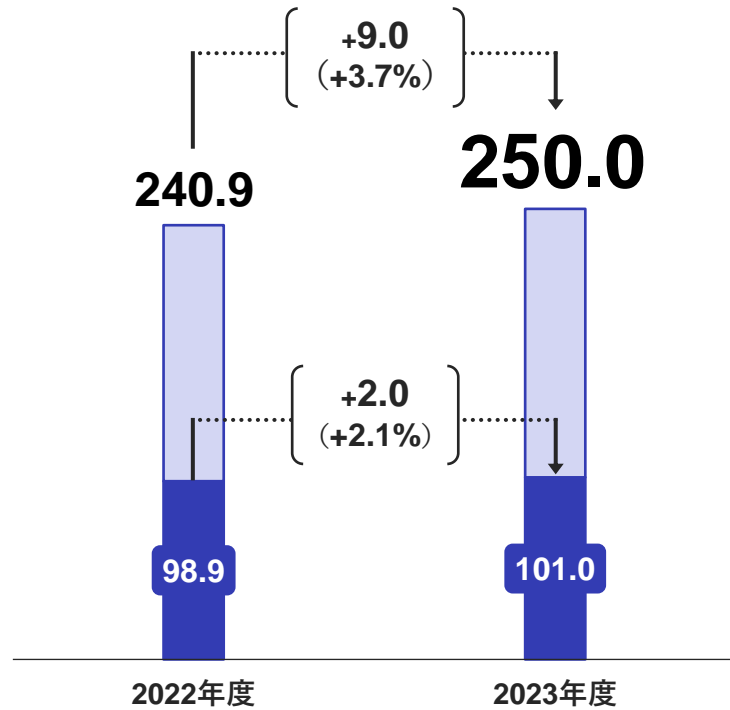
参考) 2023年度の市場予想 前年比+8.6%  
 出典 電子書籍ビジネス調査報告書2022 (インプレス総合研究所)

# ITサービス・セグメントの業績予想

病院向け、企業向けともに先行き不透明も堅調に推移

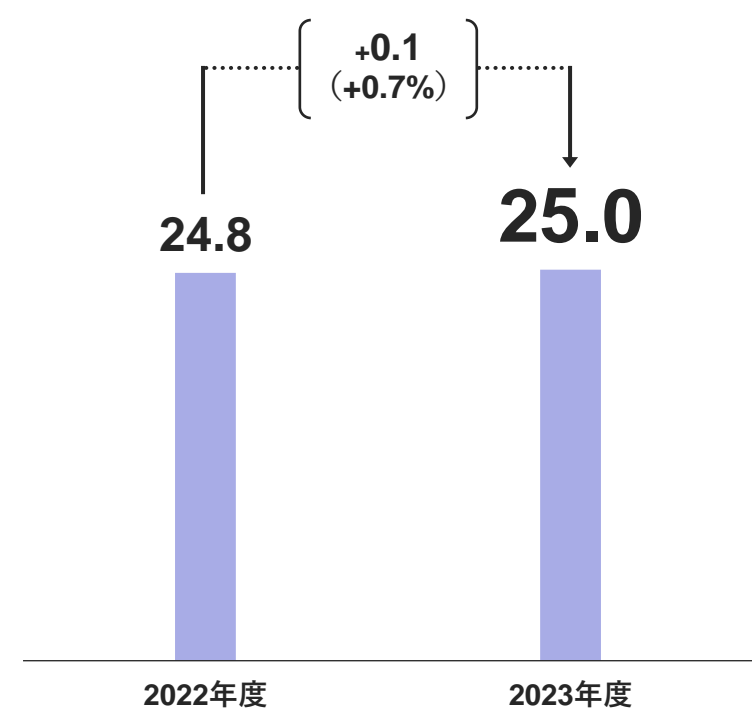
## 売上高の推移

(億円) ■ヘルスケア



## 営業利益の推移

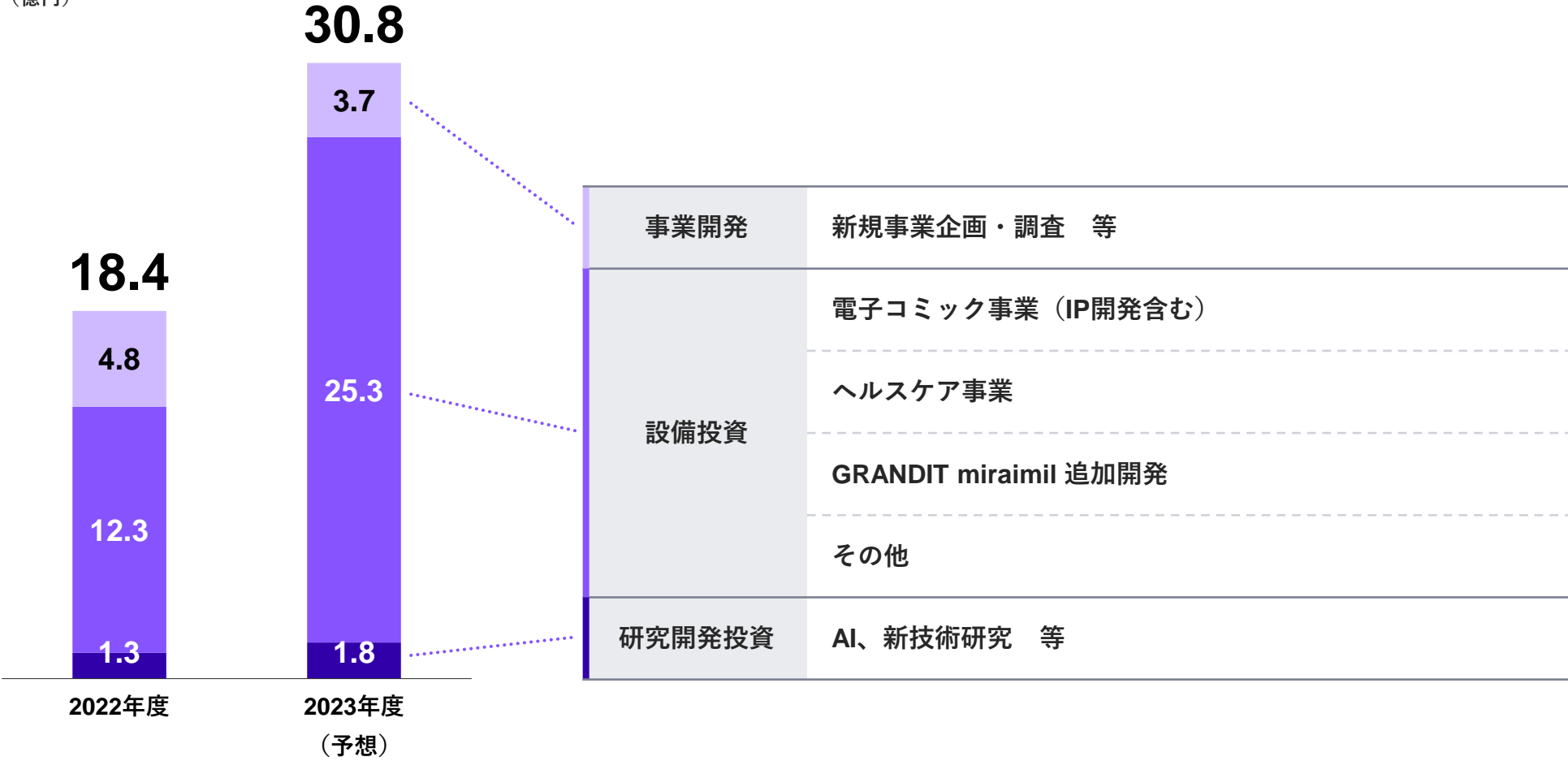
(億円) ■営業利益





# 投資計画

(億円)



# 株主還元

安定的な配当に加え、業績向上に連動した増配に努め、配当性向30%の維持を目指す

## 2023年度予想

1株当たり年間配当金

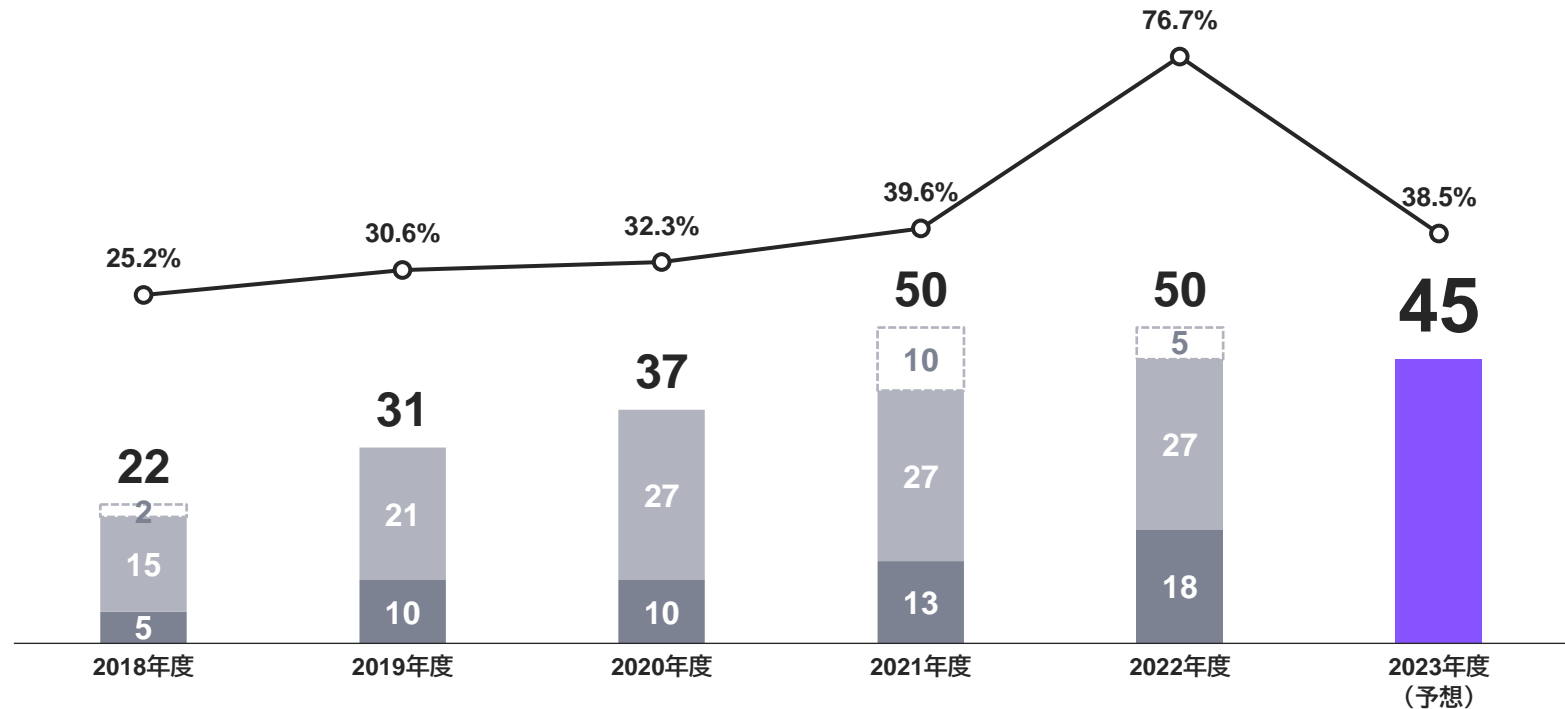
**45円**

配当性向

**38.5%**

## 1株当たり年間配当金の推移

(円) ■ 中間 ■ 期末 □ 記念配当 ○ 配当性向





# 重点事業の取り組み



# 電子コミック事業の取り組み

## 1 国内配信事業の利益ある成長

- 積極的かつ効果的な広告投資実施
- 従量会員の獲得、サービス利用の活性化
- オリジナルコミックの質向上

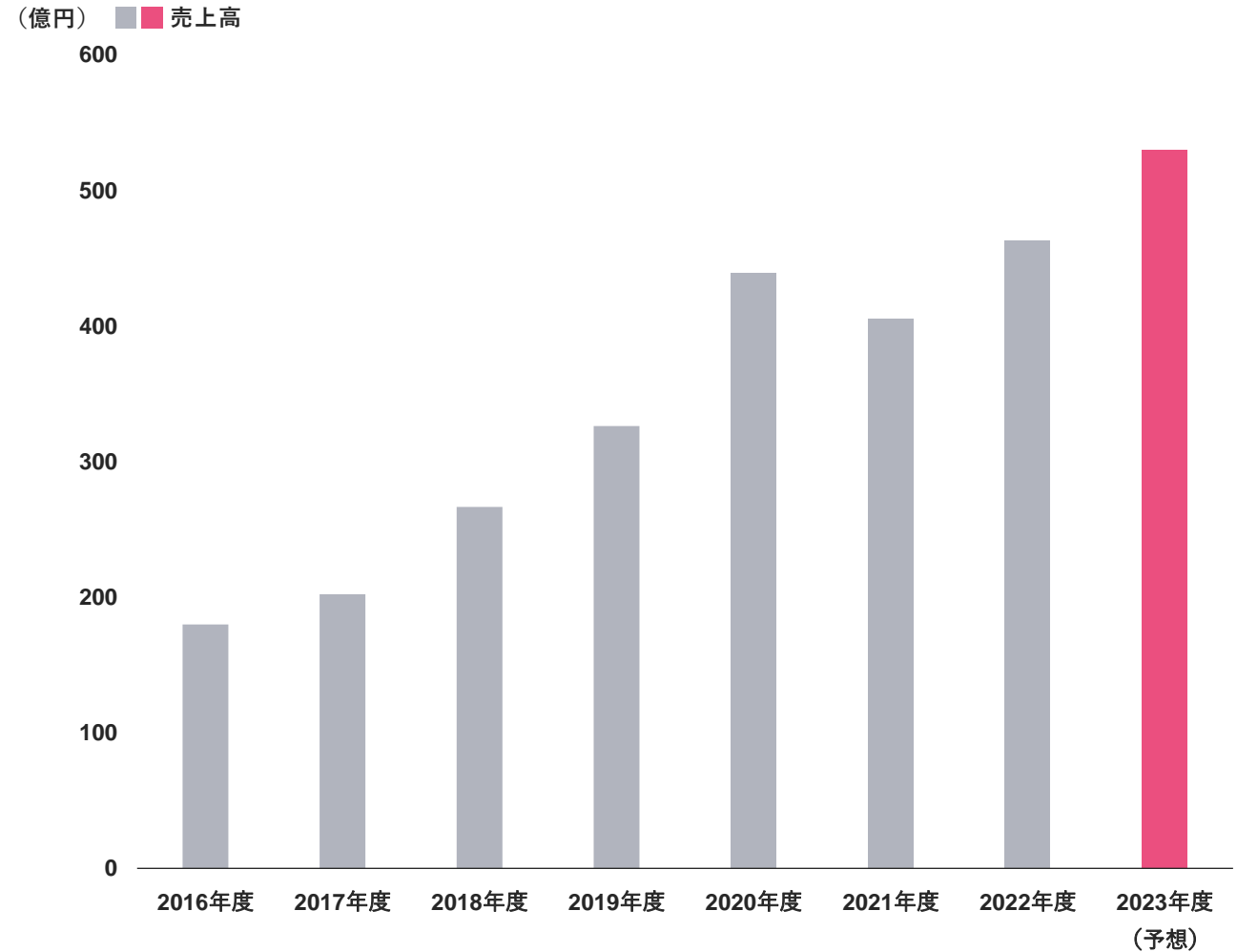
## 2 市場の拡大（海外展開）

- 韓国Peanutoon事業の更なる成長
- 米国配信事業を成長軌道へ

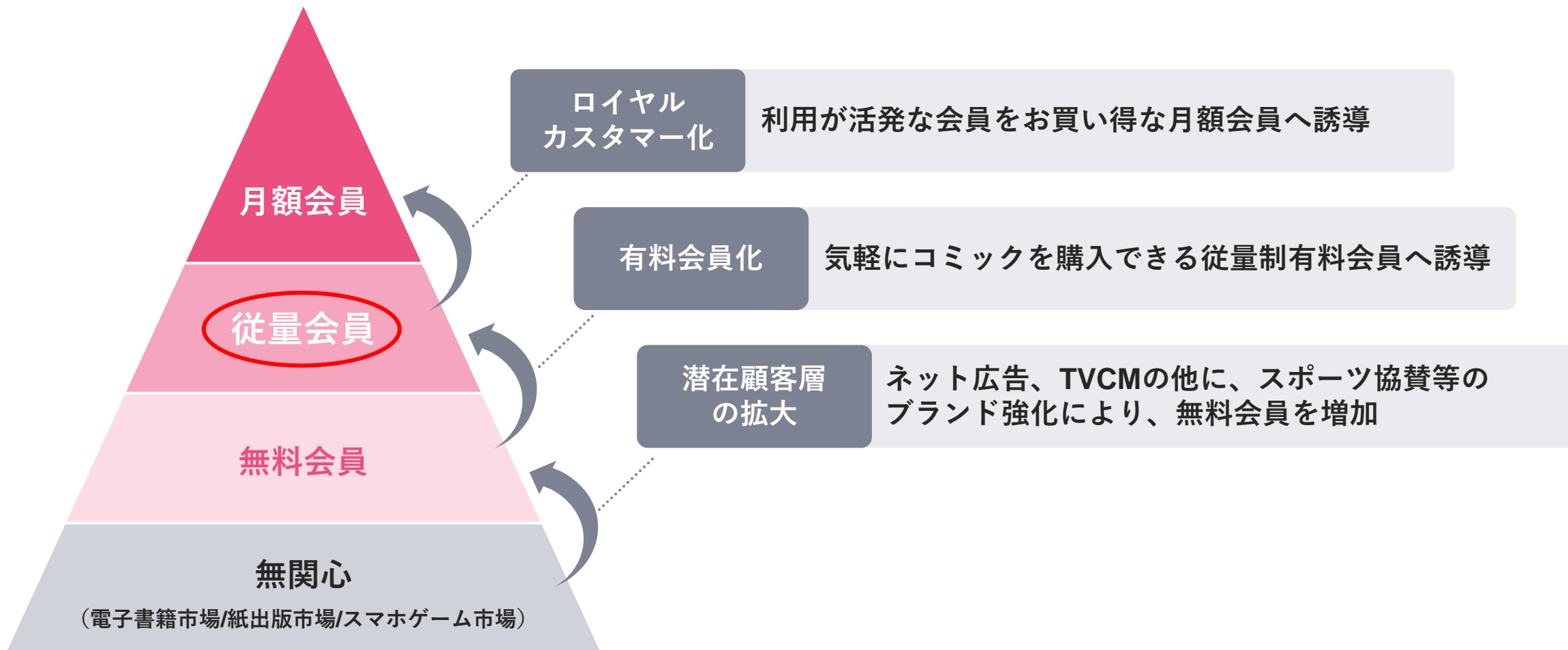
## 3 事業領域の拡大

- IP 開発
- M & A 等、周辺領域の事業探索

### 売上高推移



従量制により有料会員の裾野を広げ、会員をロイヤルカスタマーへ導く



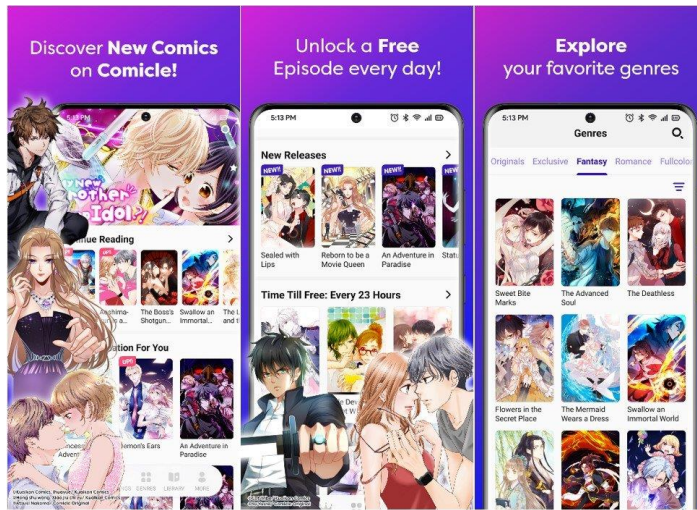
着実に海外展開をすすめる

韓国 得意ジャンルで差別化による成長

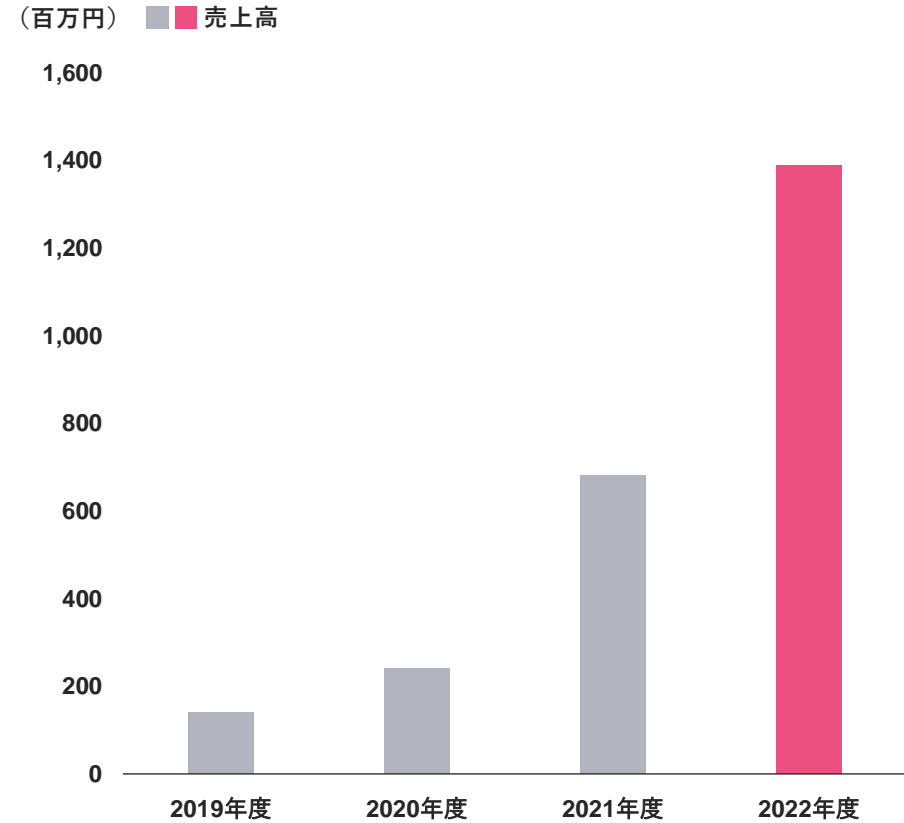
- 効果的な広告投資
- オリジナルコミックの強化

米国 若年層を対象に、各種施策を実行

- コンテンツ、広告 等



海外事業売上高推移



# ヘルスケア事業の取り組み

## 1 国内病院向け事業の拡大

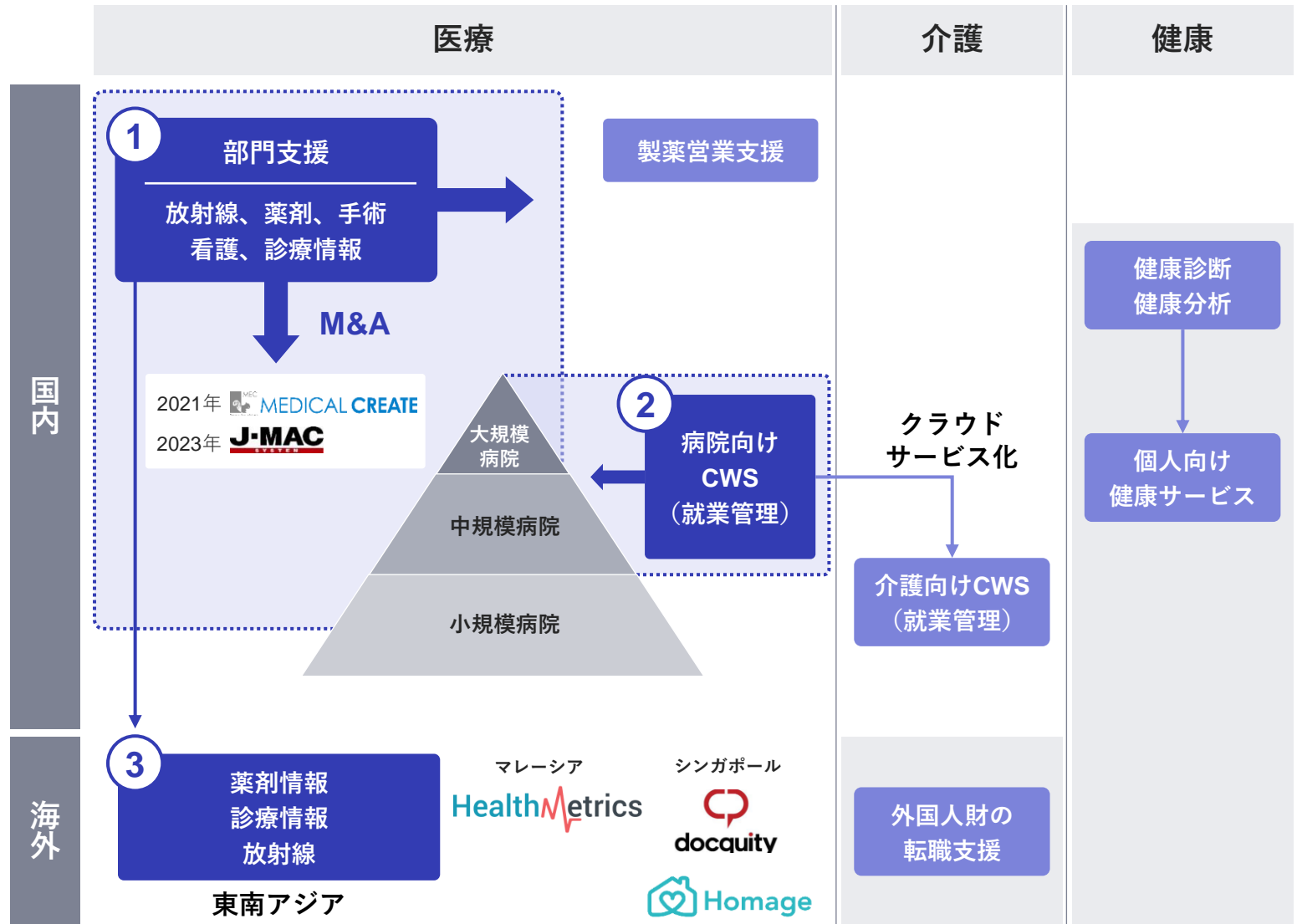
- 大規模病院は緩やかな成長
- 中小規模病院のシステム導入が活性化  
M&A含め事業領域の拡大を図る

## 2 就業管理システム(CWS)の拡大

- 医師の時間外労働の上限規制開始に備え、需要増が見込まれる
- 介護事業者向けCWSのクラウドサービス版を販売開始

## 3 海外事業領域の展開

- 新型コロナ影響の軽減により現地活動を増やし事業化を目指す



# 病院向けCWSの拡大

「医師の労働時間上限規制」開始による需要増に対応し、出来るだけ多くのCWSを展開

## 市場環境

- 1 2024年4月より、医師の時間外労働の上限規制開始
- 2 医師の勤務時間管理が難しい
  - ・ 宿日直や副業・兼業があり勤務形態が複雑

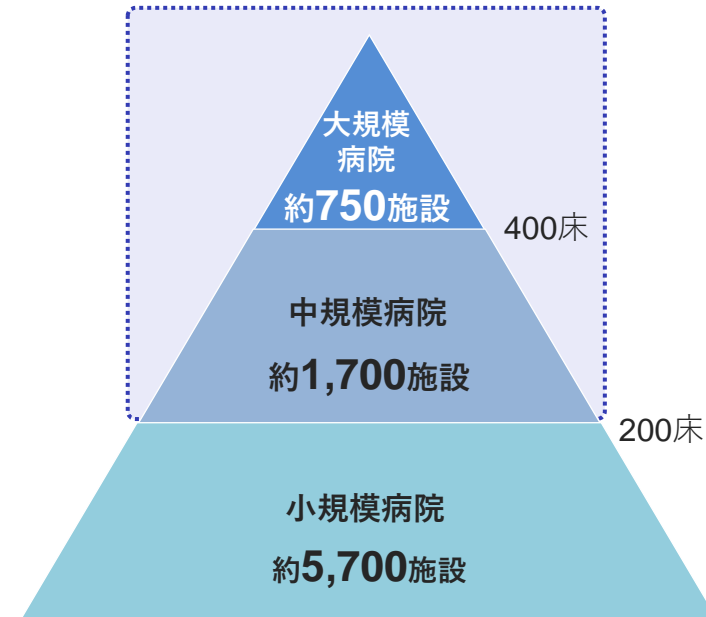
## 当社の取り組み

### 上限規制に対応した機能を提供し、導入促進

- 3ヵ月で導入可能な「医師向け限定パック」  
2023年4月より提供開始
- 「勤務間インターバルチェック」オプション  
2023年4月より提供開始
- 販売・導入体制の整備

## < 就業管理システムの導入状況 >

対応が必要となる大～中規模病院において  
システム導入済は約 1 割（当社推定）



※出典：令和3年医療施設動態調査（厚生労働省）



# ERP事業のサービス化推進

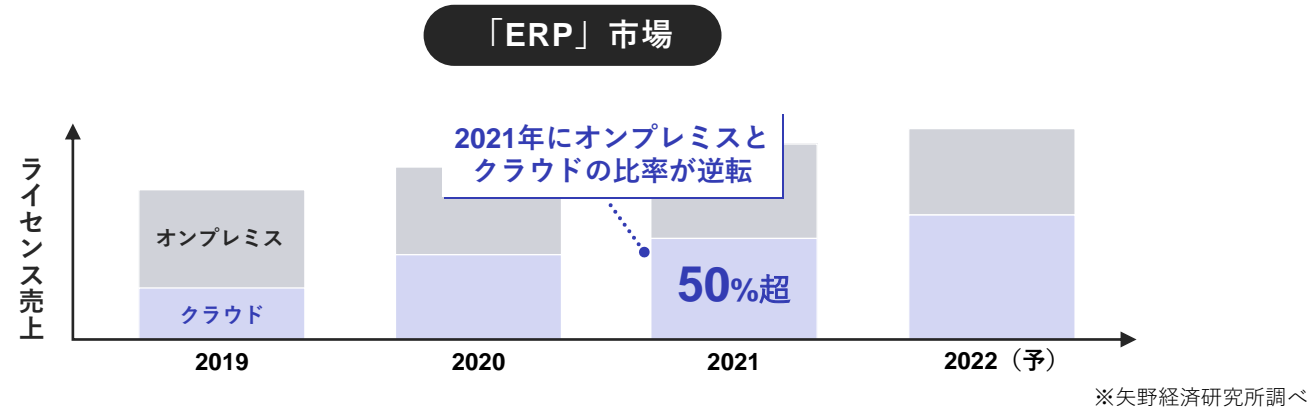
## クラウドERP「miraimil（ミライミル）」を拡販モードへ

### 市場環境

- 「新型コロナ」によりクラウド化が加速  
2021年にクラウド比率が50%超え
- 「IT導入補助金」が後押し  
経済産業省が中小企業のIT導入費用の一部を補助

### 当社の取り組み

- 『中小企業』にターゲット拡大  
自社開発のERPパッケージGRANDITをクラウド化
- 『統合型』により他ERPベンダーと差別化  
特定部署でなく、全社業務をワンパッケージでカバー
- 『官・民』により企業のDX化を推進  
レガシーシステムから脱却、企業規模によるDX格差解消へ



### 顧客ターゲット



# ICTとリアルビジネスの共創により 新たな価値を提供するサービスカンパニーへ

お問い合わせ先

インフォコム株式会社 広報・IR室



03-6866-3160



pr@infocom.co.jp

本資料は、当社の会社説明・業績説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券に対する投資の勧誘を目的としたものではありません。  
また、本資料には数値を億円単位で記載しています。そのため、同数値を用いて計算した場合、一部の経営指標及び増減額や増減率が本資料に記載の数値と異なる場合があります。  
本資料は一部を除き2023年3月31日現在のデータに基づいて作成しています。本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。  
本資料に記載された意見や予想等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性や完全性を保証、約束するものではなく、また今後予告なしに変更させていただくことがあります。